

各位

2024年12月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和6年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 103.5%、学生団体は同 97.9%、団体旅行合計では同 99.4%となった。企画旅行については前年比 107.0%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 102.4%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 104.0%、学生団体は同 149.7%、団体旅行合計では同 121.4%となった。企画旅行については前年比 172.2%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 139.4%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 153.7%と前年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 10 月の総取扱額は、前年比 111.5%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業系コンベンションや、声優のファンクラブツアーなど趣味・目的ツアーの取扱増加により、一般団体は 103.5%と前年度を上回った。

学生団体は研修や移動教室等の取扱いが増加したが、修学旅行の取扱い減少が影響し、学生団体旅行合計で 97.9%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比 107.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、信越・北陸・伊勢志摩・関西方面が好調であったが、人気のテーマパーク商品が低調であり、前年比 84.2%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）は、新潟や立山黒部アルペンルートの紅葉をめぐるコースや、伊勢志摩の食や絶景をめぐるコースが好調に推移し、前年比 114.0%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 102.4%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、企業の視察・研修旅行の取扱いが増加し、前年比 104.0%となった。学生団体は修学旅行の取扱人数増加や、語学・研修旅行の取扱いが増加し、前年比 149.7%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 121.4%となった。

海外企画旅行については、前年比 172.2%となった。海外自社企画（フリー型商品）ではテーマパークのセット型商品が引き続き好調に推移し、前年比 152.4%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、紅葉のカナダやアメリカ、フランス方面が好調に推移し、前年比 172.7%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 139.4%となった。

3. 訪日旅行

団体旅行の取扱いが減少したものの、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が大幅に増加し、前年比 153.7%となった。

以上